



### 夢と幸せを袋に詰めて 青年サンタ温かい訪問

葛巻町青年連合協議会（橋場学会長・会員65人）はクリスマスイブの12月24日、「サンタが家にやってくる」と題して町内の子どもや高齢者の世帯にプレゼントを届けました。

今年は、希望のあった59世帯116人分のプレゼントを用意して中・高生ボランティアのドリーマー9人とともに、青年サンタは夜の町へと飛び出しました。

突然のサンタの登場に驚いたり、喜んだり、泣き出してしまったり。鈴木達大くん（5歳・城内小路）は「サンタさんが来てくれてうれしい」と、笑顔でプレゼントを受け取りました。

青年サンタの心温まる訪問が続く中、イブの夜は静かに更けていきました。

「野球選手になりたい」と話す達大君（写真左）。「たくさん食べて大きくなってね」とサンタさんらとハイポーズ



### ひと足早いクリスマス 葛巻高生が社会福祉活動

雪がちらつく12月16日、葛巻高校（小野寺一校長）の家庭クラブや生徒会役員は町内の保育園や幼稚園、児童館にクリスマスケーキなどを届けました。

社会福祉活動の一つとして毎年行っているもので、サンタの帽子をかぶったりトナカイの角をつけたりして、それぞれの施設にケーキを届けました。

江刈保育園では、ひと足早いクリスマスケーキのプレゼントに「わあ～おいしそう」と園児らの歓声。お礼に、手話の振り付け付きの「私と小鳥と鈴と」を全員で歌い、笑顔に包まれました。

御座地麻衣さん（2年）は、「喜んでもらえてうれしい。来年も来るからお利口さんにしています」と園児たちと握手を交わして保育園を後にしました。

高校生のお兄さんお姉さんと一緒に、デコレーションされたケーキを前に記念撮影

### デイケア年忘れ親睦会 共同作業で楽しく交流

町が開催した障害者社会復帰活動事業・デイケアの年忘れ親睦会が12月16日、町総合センターで行われました。

社会復帰を目指す人とスタッフら約40人が参加。各担当に分かれ、そば打ちや野頭諭健康福祉課長が講師を務めたほか、いなりずしやかき揚げ、スイーツなどボランティアのサポートを受けながら、自分たちで作り上げました。完成後の昼食会では会話も弾み、午後に行われたもりおかソーシャルサポートセンターの藤原隆之さんのレクリエーションで会場は笑顔に包まれました。

阿部典子保健師は「デイケアに参加することで自立に一歩ずつ近づいてほしい。仲間づくりや交流のため心の病気を抱えている人が一人でも多く参加してほしい」と願いを込めました。



ボランティアさんのアドバイスに「へえ～そんなんですか」と笑みがこぼれる参加者

### 道の駅に加わった魅力 地元食材の弁当を発売

道の駅くすまき高原は12月12日、くすまき高原牧場が製造した道の駅弁当の販売を始めました。

弁当は、町産のヤマブドウで漬けた漬物や干菜などの一口ずしが詰まった「くすまきミワク寿司」とパンハウスで焼いたパンにくすまき高原牛を使用したハンバーグ、チーズハウスで作ったチーズをはさんだ「モーモーバーガー」の二種類。発売当日は各20個の弁当がもの一時間で完売。二日目も町内外の人が買い求め、各40個の弁当がたちまち完売となりました。

金子拓未くん（5歳）は、お目当てのモーモーバーガーをほおぼり「ハンバーグもおいしいし、チーズがとってもおいしい」と満足顔。

道の駅くすまき高原に、新たな魅力がまたひとつ増えました。



最後の二つのお弁当を手にしてニコリの金子拓未君（右）と山口創進君（左）



新しい「ナンバー18」の積載車の前で気を引き締める第18分団の団員の皆さん

### 町民の命と財産を守る 消防車両を新たに配備

町は11月30日、役場前で消防団員と関係者ら約30人が見守る中、新しい消防車両の交付式を行いました。

積載車は第14分団と第18分団に、小型動力ポンプは第9分団に、それぞれの分団長に鍵が手渡されました。

鈴木重男町長は、「機械器具の点検をしっかりと行うとともに、器具を大切に町民の安心安全のために努力してほしい」と訓辞。続いて長岡宏町消防団長は「財政の厳しい中、車両の更新に感謝します。町民を守るため、災害を最小限に食い止めるよう努めます」と責任の重大さを再確認しました。

それぞれの分団員は、エンジンを始動し赤色灯を回転させるなど操作を確認。安心安全のまちづくりに決意を新たにしていました。



山口先生（円内）の笑いを交えた話しに真剣に聞き入る保護者たち

### 家族で始める生活習慣 学校保健会が健康講話

葛巻町学校保健会（近藤聖会長）は滝沢村で山口クリニックを開業する山口淑子先生（滝沢村在住）を講師に12月3日、「子どもの生活習慣病と健康から」と題した講演会を開催しました。

山口先生は平成19、20年度に行われた健康診断のデータを元に、町内の小・中学生の肥満度が高かったことから睡眠と肥満のメカニズムを説明。「正しい生活習慣は親の生活習慣の見直しから」などユーモアを交え「体も心も健康で能力を発揮できる子どもに育てましょう」と話しました。講演会には保護者や学校関係者など約80人が参加し、「まず自分の生活習慣を見直し、早寝・早起き・朝ご飯を実践したい」と保護者らは健康づくりを再認識していました。